



たきのうえ 議会だより

平成27年10月21日 第161号



10月3日 図書館まつり

9月定例会

平成27年度補正予算(質疑)・条例の一部改正等について.....	1P~3P
一般質問	4P~9P
所管事務調査報告	10P
町長の行政報告	11P
第5回臨時会	12P

9月定例会

9月8日～

平成27年度一般会計補正予算外5件、その他議案と条例の一部改正2件を可決し、平成26年度一般会計ほか6会計の認定については、決算審査特別委員会を設置して審査することとしました

一般会計

歳入歳出予算を4549万円増、総額を44億799万円としました。

★主たる補正内容

- △歳入▽
 - ▽国営土地改良事業分担金 140万円増
 - ▽個人番号カード交付事業補助金 100万円増
 - ▽個人番号カード交付事業事務費補助金 9万円増
 - ▽障害者自立支援給付費負担金 7万円増
- △歳出▽
 - ▽森林所有者情報整備事業補助金 72万円増
 - ▽地域ふれあいプレミアム アム付商品券追加発行事業補助金 857万円増
 - ▽土地売り払い収入 40万円増
 - ▽フレグランスハウス喫茶等収入 159万円増
 - ▽国民健康保険特別会計繰出金 556万円増
 - ▽木質資源地産地消促進事業 38万円増
 - ▽町道除雪業務委託 185万円増
 - ▽給食センター修繕料 57万円増
 - ▽地域ふれあいプレミアム アム付商品券追加発行事業 857万円増
 - ▽フレグランスハウス消耗品、賄材料費 96万円増
 - ▽芝ざくら滝上公園整備事業 99万円増
 - ▽虹の橋駐車場排水補修事業 128万円増
 - ▽ホテル溪谷厨房機器 109万円増
 - ▽町道除雪業務委託 185万円増
 - ▽給食センター修繕料 57万円増
- ▽まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員謝礼 30万円増
- ▽住基ネットワーク及び個人認証サービス経費 100万円増
- ▽森林整備担い手対策推進事業補助金 4万円増
- ▽木質資源地産地消促進事業 38万円増
- ▽森林所有者情報整備事業(GPS機器) 160万円増
- ▽緊急造林奨励事業 111万円増
- ▽防犯灯・街路灯整備事業補助金 21万円増
- ▽却炉煙道改修事業 853万円増
- ▽森林整備担い手対策推進事業補助金 4万円増
- ▽木質資源地産地消促進事業 38万円増
- ▽森林所有者情報整備事業(GPS機器) 160万円増
- ▽緊急造林奨励事業 111万円増
- ▽クリーンセンター焼却炉煙道改修事業 853万円増
- ▽森林整備担い手対策推進事業補助金 4万円増
- ▽木質資源地産地消促進事業 38万円増
- ▽森林所有者情報整備事業(GPS機器) 160万円増
- ▽緊急造林奨励事業 111万円増
- ▽役員庁舎 WiFi 環境整備業務 119万円増
- ▽障害者自立支援給付費国庫負担金返還金 202万円増
- ▽緊急造林奨励事業 111万円増
- ▽児童遊園地修繕料 7万円増

質 疑

※地域支え合い高齢者世帯等除雪費助成事業

〈大原議員〉

先日の全員協議会で除雪の金額は当事者間で決めると言っていたが、新規の方は目安がなくてわかりにくい。今まで、社会福祉協議会で高齢者事業団を使って民間の除雪をやっている。そういう参考になるものを提示した方がより親切ではないか。

〈山川保健福祉課長〉

この事業は、除雪作業を行う方等について誰もが協力していけるように採用を広く設定しています。単価を設定するとなると種類に応じて個々に設定することは非常に難しい。又制度の目指すところが地域の協力、住民組織のボランティア的な部分。それに助成したい。

ただ、初めての試みなので問い合わせがあった場合、実績のある社会福祉協議会の1時間当たりの単価をお

知らせて対応したい。

〈大原議員〉

これを利用される方はお年寄りで、どうしたら良いか悩む人がいると思う。

制度を周知する際、相談に応じることを告知するべきでは。

〈山川保健福祉課長〉

検討させていただきます。

※森林所有者情報整備事業（GPS機器）

〈大原議員〉

民有林の境界等を分かりやすくするのに購入することだが、民有林所有者同士で山林を売買するときに貸し出しすることは可能か。

〈吉田林政課長〉

個人データがいろいろ入っているため基本的に貸し出しは考えていない。ただ、どうしても売買とは別に境

界をきちつとしておきたい方は森林組合に相談していただきたい。

国民健康保険特別会計

歳入歳出を280万円増、総額を4億4974万円としました。

△歳入▽

▽現年度療養給付費等負担金 216万円減

▽財政調整交付金 32万円減

▽一般会計繰入金 556万円増

△歳出▽

▽介護納付金 358万円減

▽保険者償還金 546万円増

▽退職被保険者等償還金 85万円増

介護保険特別会計

歳入歳出予算を266万円増、総額3億8290万円としました。

下水道特別会計

歳入歳出予算を44万円増、総額を1億6338万円としました。

水道特別会計

歳入歳出を166万円減額し、総額を8072万円としました。

国民健康保険病院事業会計

△収益的支出▽ 646万円増、総額7億6053万円としました。

▽検査技師、看護師賃金 515万円増

▽看護師等給料 352万円減

▽手当 102万円減

▽法定福利費 19万円減

▽施設管理費 26万円増

▽看護師紹介手数料 578万円増

質疑

※看護師紹介手数料

〈大原議員〉

契約看護師を正職員として採用しなければ毎年手数料を払わなければならぬ。事務の職員に片手間で作らしても正職員は集まらないのでは。毎年このぐらいの経費をかける覚悟があるのなら本腰を入れて正職員の看護師を集めてはどうか。

〈長屋町長〉

今回契約した看護師

に正職員になるよう働きかけをしている。今後、この取り組みを強化したい。
そのための職員を配置するかどうかは断言できない。

その他可決・承認された事項

滝上町教育委員会委員の任命について

任期満了に伴う教育委員の任命について次の方を任命することに同意

- ・滝上町栄町 今藤 慶子氏
- ・任期

自平成27年10月1日
至平成31年9月30日

滝上町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

「マイナンバー制度」の個人番号通知が本年

10月から始まるための必要な保護措置を講ずる改正
平成28年1月1日
施行

施行

※マイナンバーとは

平成27年10月から、日本国内の全住民に通知される、一人ひとり異なる12桁の番号のこと。

個人が特定されないように、住所地や生年月日など関係ない番号が割り当てられる。

※マイナンバーの目的
公平公正な社会の実現

所得や他の行政サービス
の受給状況を把握しやすくする。

国民の利便性の向上

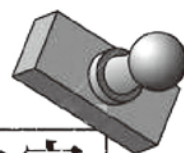
年金や福祉などの申請時の添付書類の削減により行政手続が簡素化される。
行政の効率化

行政機関や地方公共団体などで様々な情報

の照合や入力などに要している時間や労力が大幅に削減され、正確に行える。



意見書



決定

※関係行政庁へ提出しました

- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書

一般質問



△森田議員V

童話村構想を立ち上げて25年になるが、まだまだ町の隅々まで行き届いていないのが現状ではないかと思う。町長の公約の中に、童話村町づくりの推進も重点項目として取り上げている。人に優し

問 童話村構想のまちづくりは
答 まちづくりビジョンで示す

さや思いやりを伝えてこそ童話村らしさが表現できると思う。そういった点から三点について聞きたい。

一、現在、国保病院前にバス停はあるが、病院の軒下に長椅子を置いてあるだけだ。童話村らしいバスの待合所を作って童話村構想の一助になれば良いが。
二、町内主要バス停にはバスを待つ間の椅子がない。

高齢者の負担を考慮して長椅子の設置をする必要があるのではないかと。

三、多くの町民の方が朝早くから健康増進のため、散歩をしたり、日中の買い物をしていくのが疲れた時に休む場所がない。

ホッと一息する場所があれば良いかと思う。街なかコミュニティ広場、（小公園、ポケットパーク等）の設置をする気はあるか。

△長屋町長V

一、国保病院内において、バスが来た際には職員による声かけをして乗り遅れるということがないようにしたい。当面はこの方法で対応していきたい。

二、設置の必要性はあると考えます。設置後の管理は町内会など地域の協力が必要です。設置場所の確保と設置後の管理の問題について解決できる方法を模索していきたい。

三、町内会など地域の協力が必要であり今年度策定する町づくりビジョンの中で検討していきたい。

△森田議員V

一、今のところ考えていないということだが、本来、待合所は待合所ロビーはロビーだと思うが。

二、長椅子の設置を検討したいということだが、町普請事業を利用したらどうか。

三、夏場はその場所を公園として、冬は椅子を撤去し、雪を捨てられるような場所にしても良いのではないかと。こういったことを踏まえ町内会の人たちと一緒に考えていければ大変良いと思うが。

△長屋町長V

病院のバス停と待合所は別々にすべきでないかという意見、考え方もある。しかし、病院の中は冬場でも暖房されているし、バスが停まる場所と遠く離れていないので、当面この方法でいきたい。

長椅子の主要バス停への配置だが、これも管理の問題もあるので、関係機関と協議していく必要があると思う。

コミュニティ広場については、総合戦略の中でどのようにするかということも町民とともに詰めていきたい。

△森田議員V

童話村構想の理念がもっと伝わるよう、町と町内会が協働してその実現のために、ふるさと滝上に住んでいて良かったと思える町になるようさらに邁進して頂きたい。

※「童話村」構想

- ① 郷土愛・郷土意識を高める
- ② 住民活動を誘発する
- ③ 産業を振興する
- ④ 生活環境の整備と文化を進める
- ⑤ 地域文化を高める
- ⑥ 国際交流・地域間交流を推進する
- ⑦ 町のイメージを高める

△高橋議員V
 近年、特に気象変動
 が大きい。滝上町も昨
 年12月の暴風雪により
 国道通行止めとなった。
 そうまでならなくても、
 視界不良等により通行
 に支障が生じ、命の危
 険を感じた人も多くな
 るのではないかと、



**問 国道 273 号線の冬期間の
安全対策は**

答 早急に要請していく

△長屋町長V
 議員が指摘したよう
 に町内を通る国道には
 視線誘導標が設置され
 ていないところや間隔
 が遠いところがある。
 適正な間隔での設置
 や、不設置箇所への設
 置について、早急に改
 善するように網走開発

北海道開発局に対し、
 大至急は正するように
 強く要請をするべきと
 考えるが、

このまま放置すること
 はできない。
 国道は町の管轄では
 ない。しかし町民の生
 命・安全を考える上で、

「道路吹雪対策マニユ
 アル」では、視線誘導
 柱の設置間隔が定めら
 れている。デリニエー
 タは40m、固定式視線
 誘導柱は80mである。
 しかし基準通り設置
 されていない箇所や設
 置すらされていないと
 ころがある。

建設部の興部道路事務
 所に要請する。

△高橋議員V
 二区には視線誘導柱
 で太陽電池を備えた自
 発光タイプのもので設
 置されていて、視界の
 悪い時にでも大変見え
 やすく危険を回避でき
 る。
 是非そのタイプのもの
 を要請してほしい。

△長屋町長V

運転者が見やすいも
 のが一番良い。夜でも
 自分で光る太陽光利用
 のものが良いと思うの
 で、要請をしていく。
 国の方もそれぞれ道路
 維持補修等もあるので
 直ちに設置できるかど
 うか分からないが、事
 故防止のために要請行
 動をしていきたい。



視線誘導柱



デリニエータ

一般質問

問 スポーツセンター等の安全管理は

答 現状を勘案し検討する

△高橋議員▽
一、一時スポセンに常駐させた町職員を引き上げた理由は何か。
二、現在は管理を民間委託し、広範囲を一人の管理人が見回っている。センター以外の施設で作業をしている時には電話の子機も使えない。センター内の状況も把握できない。こ

の体制に問題はないのか。
三、事故が起きた場合、責任は誰が負うのか。子どもだけでの利用もある日中は複数の職員なり管理人を配置すべきだ。再度、職員を配置する考えはないか。
四、スポーツセンターにランニングマシン等を多数導入し、臨時職員を配置した目的は何であったのか。利用状況はどうなっているか。

△山崎教育長▽
一、平成16年度から5年間、経費軽減等のため体育振興係をスポセンに配置していた。しかし、機構改革により業務効率化を図ることを目的に職員を引き上げた。
二、屋外へ出ている時に電話が入っても受けられないのは事実。転送電話等の対応は考える。
三、子どもだけで利用する場合は、注意・声

かけをしているが、今後事故が起きないよう引き続き留意するよう委託業者に指示している。
基本的にはスポーツ中の怪我、事故等は利用者個人の責任。事故を未然に防ぐ施設維持は管理者の責任。事故が発生した場合、原因が何か、状況把握に努めて適切に対応していく。
四、健康づくり等、気軽に運動を楽しんで自己管理が出来るように導入した。そのためにアドバイザーを配置し、個々にカルテを作成して利用者への指導を行った。利用方法、注意事項は掲示している。新規の利用者には職員が指導している。広報ふれあい広場等でも周知していく。

△高橋議員▽
子どもだけの利用を認めている以上その管理責任は町にある。
住民の安全、命を守ることを第一に考えるのが大事な姿勢だ。
機器の導入時は住民の健康増進・医療費の抑制、介護疾病の予防のためとして、保健師が現地で対応したこともあった。
現状では機器がたくさん余っている。税金の無駄遣いといわれても仕方ない状況だ。
利用増の対策は何か。
△山崎教育長▽
職員の配置は、現状を勘案しながら検討する。
機器は、当初の目的があるので保健福祉課とも打ち合わせをしながら取り組んでいく。
△長屋町長▽
基本的には複数で管理するのが望ましい。民間委託の中で事故防止という観点から連絡が取れるような体制ができるよう努めたい。
機器の利用者は、平成21年一日平均約18人



現在使われていないランニングマシン

26年は6人。当初設置しすぎた。利用者がほぼ固定化されている。新規の方については教育委員会が指導・助言していくという形を今後取りたい。
△高橋議員▽
カルテは何回かやればそれを継続すれば良いというものではない。他自治体では健康ポイント制度を取り入れ、運動量に応じてスタンプを押し、特産品や商品券と交換しているところもあるが。
△山崎教育長▽
検討する。



問 国保病院の運営体制は

**答 規模を含め課題克服を
検討する**

△清水議員▽
一、町立病院の夜間診療・訪問診療はいつから再開されるのか。また看護師確保の抜本的対策はあるのか。
町民から現場責任者である病院長の説明を聞きたいという意見が

△長屋町長▽
一、新規採用看護師が職場に慣れるまで、もう少し時間がかかる。夜間診療は年内の再開訪問診療は体制が整い次第の再開を目指したい。また看護師確保対策では、複数年契約や正職員への登用を考え

△清水議員▽
現在看護師紹介所等を通じて募集しているが、合わせて管理職看護師・各検査技師も募

△長屋町長▽
管理職候補者は能力等を見極めることも必要なので、採用者の中から選びたい。また技師について定年が近いので早急に確保に向けて動きたい。
紹介手数料の圧縮は必要です。正職員の採用に取り組んでいきたい。
交付金等を除いた実質赤字は約2億5千万ですし、病院の留保金

あるが。
二、レントゲン・血液検査技師は各1名しかいない。今後増員する計画はあるのか。
三、今回新規採用看護師に赴任手当を支給した。短期離職の場合返還してもらうのか。
四、町職員看護師は7割が准看護師だが、契約看護師は正看護師が多い。将来の管理職候補育成の長期的展望はあるのか。
五、契約看護師は公営住宅や民間住宅に住んでいる。緊急時にすぐ採用できるよう、ある程度の家具等を備えた住宅を確保すべきでは

ていきたい。更に病院長は現場管理責任者として指揮しており、夜間診療は町の責任と考えている。
二、緊急検査が必要なときは、二次医療機関に救急搬送で対応している。2名体制は考えていない。
三、短期離職した場合でも赴任手当3万円の返還義務は考えていない。
四、以前、勤務しながら正看護師資格を取得した職員がいた。現在はいいないが意向調査をして検討したい。また正看護師の募集を行っていききたい。
五、滝上町では最低でも1年以上の契約を考

集してみてもは。ただ紹介所を利用すると手数料がかかる。看護師確保のためには仕方ないが、その事を町民に告知してはどうか。
昨年、3億円の赤字だ。二千八百人の町で現状維持が良いのか。別の手段はないのか。前例にとらわれることなく、町民の福祉、安心の医療とは何かを考える時期に来ていると考えるが。

△清水議員▽
このままでは病院経営が経ちいかなくなることはわかっていると。例えば民間救急搬送業者を使えば、年間3千万程度と聞いている。また医療スタッフを乗せても良い。そうすれば夜間診療体制をとらなくても町民は安心かもしれないし、財政的負担が減るかもしれない。
広く検討する必要があると考える。

一般質問

問 公住設計の見直しは

答 計画的な配置と利便性を確保する

△清水議員▽
 一、現在、町内に247戸の公営住宅（公住）があり、幸町の幸和団地がその近辺で建て替えられている。これではいつまでも公営住宅が分散する。長期的に考え、もう少し集めてはどうか。
 公住入居者は半数近くが60歳以上で、うち7割が単身者です。また、町内には高齢単身者が多数いると考えま

△長屋町長▽
 一、公住建設は、バランス良く配置することを念頭に進めている。ただ例外もあり、地域の要望によっては移転建て替えしたところもある。ただ現入居者住み替えが多いので、地域コミュニティの維

△清水議員▽
 病院は建設後40年経っている。公住の建て替えを現在地優先にすると、病院建設地は現在地周辺となるが、長期展望を聞きたい。

△長屋町長▽
 病院建設場所は町民と議論して決めるべきと思うが、私は基本的には現在地かと思う。幸町に高齢者を集めるのではなく、入居者が住む場所を決める。町内のコミュニティの形成を考えると、高齢者と若者が混在している方が望ましいと思う。

す。
 この方たちも含め高齢者を公住にコンパクトにまとめ、サービスをしやすいとするという気はないのか。
 二、幸永団地では除雪や採光を考え、花壇を撤去した。1軒あたり7万円程度かかるが、避難経路確保のためにも他の公住に実施する気はあるか。
 三、他自治体の公住を視察した。住民と意見交換し明快なコンセプトを持って建設されているところが多かった。

三、公住設計では、ユニバーサルデザインの採用、森林認証材活用、景観条例に沿った色彩等のコンセプトを持つて設計している。

△長屋町長▽
 病院建設場所は町民と議論して決めるべきと思うが、私は基本的には現在地かと思う。幸町に高齢者を集めるのではなく、入居者が住む場所を決める。町内のコミュニティの形成を考えると、高齢者と若者が混在している方が望ましいと思う。

△清水議員▽
 高齢者が病院への利便性を考え幸町に住みたいのであれば、そこに重点的に新設するよう検討してもらいたい。

一般質問



問 定住促進について 答 計画的に取り組む

△大原議員V

町長は施政方針で、若者のU・ターンにより定住促進を図ると言っている。

その目標は次のどれか。

- 一、人口の増加
- 二、人口減少率の低下

三、目標人口を設定しそれを維持する。
また受け入れる若者像とは。

次に都会の若者を呼び込みたいとあるが、滝上町の認知度等が高くないと呼び込みは無理だと思う。どの様にしてそれを高めるつもりか。

△長屋町長V

二の人口の減少を最小限にとどめることを目標としたい。その為に緊急雇用対策事業や若者等の支援策「ずっとスマイルたきのうえ」等の対策を講じていく。

また今年中に、総合戦略を策定し、人口減少対策のための基本目標や数値目標を定める。受け入れる若者は、

独身・既婚を問わない。ただ都会にはない滝上町の良さ、不便さも理解したうえで、町を気に入ってくれる方を受

け入れていきたい。

都市部で町の認知度を高めるため、移住交流情報ガーデン等の活用を考えている。

また移住を考えている人は、インターネットを利用してあるので、町ホームページはもとより各種サイトも利用していきたい。

△大原議員V

人口減少率の低下を選択されたが、人口が減りすぎたら商業が成り立たなくなる。

アベノミクスでは、国内成長率年3%と目標を定めている。それを達成するため、消費税増税の延期等の対策を講じることができ、やはり町長は人口目標を示すべきではないか。

△長屋町長V

国は人口を1億人で安定させたいという目標を持っている。

町も策定する人口ピ

ジョンでどの程度の人口に持つていくかを示したい。

また数値目標を定め、5年計画を策定し、毎年見直しを掛けながら計画実現に向けて取り組んでいく。

△大原議員V

人口減少が悪いわけではない。明治維新のときの総人口は3330万人だった。しかし外国人から見たら、日本人は豊かな暮らしをしていると感じていた。町民も豊かな暮らしができれば人口減少は気にならない。

だが人口が減りすぎると、農林業や商業も含めて事業継続が困難になる。

その為にも町長は、希望の持てる数字を示すべきだが。

△長屋町長V

各世代間の人口バランスが取れ、フラット

化できれば良いと考えている。それが本当の目指すべき目標であることは間違いない、それによって町民が希望を持てる事が最高です。今この場で目標を言う事は出来ないが、策定する人口ビジョンの中で示していきたい。また策定に当たっては、広く町民の意見も取り入れていきたい。

所管事務調査報告

9月定例会において、7月14日・15日に実施した所管事務調査の報告が両常任委員長からありました。



四区小規模治山事業



雄鎮内麦乾施設



事務調査

総務文教常任委員会

滝上町国民健康保険病院の経営状況について

国保病院の平成26年度末医業収支については3億1千5百万円の損失となりました。損失額が多大になった要因としては、夜間体制の不備に伴う診療報酬の格下げによる医業収益の大幅な減少によるものであります。

夜間診療・在宅訪問診療は休止したままになつており、町民にとつては深刻な状況です。このような問題が二度と繰り返されないような施策をとることが重要であり、診療体制の整備が病院経営の改善につながるものと考えます。

具体的には、在宅訪問診療の再開を第一に取り組むべきと提言します。また、病院運営委員会を今以上に積極

産業建設常任委員会

①畑作農家対策について

的に活用し、情報周知や解決のための議論を進めて頂きたい。これらの取り組みや解決までの進捗状況について、ある程度の目途を立て、広報のみならず細やかに住民に周知するよう要望します。

町民がいつでも安心して病院を利用できるように、今後も精力的に取り組み解決されますよう強く望むものであります。

平成26年度末の畑作農家における戸数は23戸・生産総額が2億6千万円となつております。今後は戸数及び生産の減少が予想され、後継者対策と農地対策を同時に進めていかなければならない状況にあります。畑作農業における生産性の向上や魅力の発信・農地対策等について、農業委員会や関係組織とともに生産者の思いや農業振興における方向性等を一体的に整理し進めていくことを望むものであります。

②ホテル溪谷の施設整備について

ホテル溪谷は、障がい者等の対策（バリアフリー化、介助犬対策等）が公共の施設として義務付けられていますが、十分な対策が施されていません。ホテル及び町の評価にも影響する問題だと捉えていますので、法律で義務化されているものは速やかに取り組む必要があると提言します。



町長の行政報告

畑作物の生育及び 収穫状況について

小麦について7月末から刈り取りが始まり、8月上旬収穫が完了しております。収量については粒の肥大が良好で現在、製品の乾燥調整を行っているところでありますが、推定で10[㍗]あたり9.5俵ぐらいになりそうとのことであります。

甜菜は移植後の天候不順により生育が心配されましたが、7月以降の天候回復により現在生育は平年並みと良好であります。

スイートコーンにおいては8月19日から早生品種の収穫が始まり例年より若干早めの収穫開始のため収量は落ち気味ですが、これから収穫の中生、晩生品種の収量に期待するものです。

その他畑作物については昨年より順調に生育

している状況で収量も期待されるところですが、収穫時の天候が心配であります。

飼料作物のうち、牧草については一番草サイレージは昨年より2割程度の収量増で栄養価は高い傾向にありました。

デントコーンについては9月1日調査では熟期が平年の3日程度遅れの状況であり、現在の生育状況では収穫時期は9月下旬となりそうであります。



「国保病院夜間診療 休止に係る経過」 について

国保病院の運営については昨年から相次ぐ医師、看護師の退職により、従来の診療体制を維持することが困難な状況となり、町民の皆様には不安とご不便をお掛けしているところであります。

昨年8月末で、整形外科の宮城副院長が退職したことにより、9月以降は後任医師を迎えることが出来ず、現在まで外科診療は非常勤医師による診療を行っているところであります。

招聘医師につきましては、札幌医大を中心とした地域の医療課や地域医療振興財団、又、様々な人脈を頼りに探しているところであります。

特に札幌医大にしましては、週末の当直にきて頂いている医師の中に派遣を担当されて

いる方が、月に一度ないし2ヶ月に一度見えられております。

その際には何度かお会いし、当病院の現状をお話しし、派遣要請をしているところであります。また、病院長にも来院の都度、札幌医大の情報収集等をしていただいております。

しかし、札幌医大につきましては、この9月に教授選があり、人事等に関しては教授選以降、動きがあると思われまので、今後はより一層当病院への派遣の働きかけを進めて参りたいと思っております。

「遠軽厚生病院の産婦人科医師不足問題 の状況」について

現在、遠軽厚生病院の産婦人科は医師3名の診療体制ですが、今月一杯をもって旭川医大からの派遣医師2名

が引き上げ、更に副院長である産婦人科医師も退職する意向を固めておりますので、3名の医師が不在となり産婦人科を休止せざるを得ない状況となっております。

本町におきましては、現在、遠軽厚生病院で妊婦検診を受けている方はなく、ここで出産する予定であった方はいない状況であります。今年度のこれからの妊婦の出産予定としましては、紋別市が3名、旭川市が2名、函館市が1名で計6名となっております。これから

は初産婦などの方は遠紋地域以外の病院に通院せざるを得ない状況となります。今後、初産される方々に対しましては安心して出産できるよう、保健師を通じて旭川・北見・名寄などの産婦人科との連携を取って参りたいと考えております。

第5回臨時会

8月4日

平成27年第5回臨時会を8月4日開会し、一般会計補正予を可決、専決処分を承認し、同日閉会しました。

溪樹園暖房設備改修補助事業、加湿設備についてランニングコストの比較により電気式から蒸気ボイラーへ変更

一般会計

- ▽高齢者福祉施設暖房設備改修補助事業
 - ・加湿設備及び高圧受電整備工事 2400万円減
 - ・加湿設備及び蒸気ボイラー設置工事 2207万円増
- 結果、192万円減

内容の説明

〈齊藤副町長〉

6月定例会で補正予算可決頂いた溪樹園の暖房配管工事に係る加湿設備工事について、当初の説明では既に設計済みの図面に基つき加湿設備の動力は電気

とし、係る高圧受電設備であるキュービクルを増設すると説明のもと議決を頂いたところですが、しかし、事業執行にあたっては電気動力による加湿設備を設ける方法とその他の方法について、ランニングコスト等の比較検討を行った結果重油を燃料とする蒸気ボイラーによる加湿器の稼働の方が後のランニングコストを年間約200万円節約出来ることから工法の変更を行うものです。

議長・議員の活動報告

7月24日～10月22日まで

【町内行事】

7月24日 全員協議会

8月2日 滝上消防団パークゴルフ大会

3日 議会運営委員会

4日 第5回臨時会

26日 総務文教常任委員会及び産業建設常任委員会

28日 全員協議会

9月5日 議会運営委員会

6日 童話村たきのうえ「ふるさとまつり」開会式

7日 童話村たきのうえ「ふるさとまつり」大抽選会

8～9日 第6回定例会

16～17日 決算審査特別委員会

18日 平成27年度敬老会

24日 実践酪農学体験に係る参加学生との交流会

28日 ふるさと名物応援事業懇親会

10月1日 決算審査特別委員会

4日 芝さくら町民植栽会

8日 全員協議会

14日 決算審査特別委員会総括質疑

14日 議会運営委員会

16日 第7回臨時会

【町外行事】

7月30日～8月1日 オホーツク圏活性化期成会夏季要望（東京都）

18～19日 議会広報研修会（札幌市）

22日 遠紋地区市町村議会議員パークゴルフ大会（遠軽町）

9月25～26日 「ふるさと滝上大同窓会」(札幌市)

10月19日～21日 全国議会広報研修会（東京都）

22日 遠紋地区市町村議会議長会議員研修会（西興部村）

22日 遠紋地区市町村議会議長会議員研修会（西興部村）

最近の出来事

芝ざくら植栽会

■10月4日、芝ざくら滝上公園で童話村を育てる会が主催で芝ざくら町民植栽会が開催されました。町民、紋別警察署の方々総勢80名の協力により、約10,000ポットの芝ざくらがヘリポート横の斜面に植栽されました。

来年きれいに咲いた芝ざくらが楽しみです
ね。



ふるさと滝上大同窓会

■今年で2回目となる「ふるさと滝上大同窓会」が9月25日（金）サッポロビール園で開催いたしました。滝上町出身者や滝上が好きな方、滝上に縁のある方など、約200人が集まりジンギスカンに舌鼓を打ちながら、ふるさとの思い出話に花を咲かせ大盛況となりました。



（再生紙を使用しています）



議会に行こう！



※次の定例会は12月上旬の予定

傍聴は議会活動に触れる最も身近な方法です。

皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを是非、ご覧ください。会議当日の受付で簡単に傍聴できますので、役場3階の傍聴席入り口までお越しください。